

講演会 元松坂市長山中光茂氏と語る

「私が市長をやめたわけ」

誰とでも気さくに会話をし、多くの市民を魅了した元松坂市長に、政治と市民との関わりなどのお話を伺います。



3月20日(日) 15:00～
常滑市中央公民館 視聴覚室

プロフィール
慶應義塾大学法学部法律学科卒業。群馬大学医学部で医師免許を取得、「三重県議会議員、松坂市長選挙で33歳の当時全国最年少の市長となった。市立松阪図書館の改修計画を巡って市議会と対立し、2015年3月に辞職を表明した。」

講演 みんなで創る地域医療
～新たな医療コミュニティ・デザイン～

病院ボランティアイベント部が下記の日程で講演会及び交流を企画しました。

1月23日(土) 13:30～
常滑市民病院内 とこなめホール

北野達也教授 (星城大学経営学部医療マネジメントコース主任-専攻長)

一隅を照らす 市民の声

男性社会を生き抜く女性のために

多くのいじめの世界は、自分がいじめられたくないためにいじめに対し見て見ぬふりをしている。女性一人の場合、のけ者にすると心理学上では言われているためか、男社会では女性一人は耐えられなくやめていくケースが多い。

私は今その境地にあるが、最近2015年年間ランキング第1位という「嫌われる勇気」という本に出会った。「もしあなたが行きづらさを感じているのであれば、足りないのは能力でも、お金でも、恵まれた環境でもない。幸せに生きるために人に嫌われることを恐れない「勇気」なのです。」と書かれていた。いじめに逢っている皆様頑張ってください。

傍聴のお薦め

3月議会 2月29日(月)～3月22日(火)
一般質問 3月2日(水)・3日(木)
予算委員会 3月8日(火)～10日(木)

Cafe de 情報交換



3月議会は平成28年度の予算書を見ながら税金がどのように使われているか皆様とチェックします。お気楽に参加して下さい。

2月25日(木) 10時～ 大野町きょう屋
27日(土) 19時～ 中央公民館

4日間の宜興(急須の産地)の旅



急須関係や盆栽鉢づくりの方と一緒に、4日間中国宜興市に行き、陶芸関係の大会に参加したり、常滑焼きの販売のお手伝いをしてきた。小西洋平氏、村越風月氏、中野良子氏の参加したシンポジウムは大いに盛り上がり、何万とする常滑の急須が売っていった。

中部運輸局が計画している海外からの観光客のための「昇龍道プロジェクト」に中国で人気のある中野良子氏が親善大使に選ばれた。国の企画と中国への市場拡大を図っていく民間の力を利用し、常滑市もチャンスを見逃さず、大いに羽ばたく時期ではないだろうか。



駅頭報告 1月

26日(火) 大野町駅
27日(水) 榎戸駅
29日(金) 常滑駅

きょう子通信配布のお手伝い募集中♪ 午前6時30分～7時30分

一般質問を動画でどうぞ YouTube

常滑市役所HP→市議会→本会議録画映像



明けましておめでとうございます

きょう子通信

2016年1月 No.38



常滑市議会議員 井上 恭子

ご意見 〒479-0866 常滑市大野町6-56(大野町きょう屋内)
ご相談は TEL/FAX: 42-1307 E-mail: kyo-ya@infoseek.jp

「きょう子の部屋」ブログをご覧ください。http://kyoya5052.blog52.fc2.com

“感動を 次世代につなぎ 世界に開くまち とこなめ”

～焼き物・海・空を生かして～

新たな総合計画策定しました! 第5次常滑市総合計画(平成28年度～36年度)

常滑市の人口の見通し

平成27年 平成47年
58000人 → 56,854人 (ケース1)
→ 60,306人 (ケース2)
ケース2とし、人口に歯止めをかけたい。

財政の見通し (平成27年度より平成32年度)

212億円 → 194億円 (歳入)
212億円 → 196億円 (歳出)
歳出は前期の5年間については歳入を上回るため、貯金を取り崩し、歳出の抑制と歳入の確保が必要となる。

財政調整基金(貯金)

13億7千万円 → 0円
平成27年度までに積み上げた貯金も平成30年には0円

常滑市の借金

635億円 → 498億円
平成26年より平成31年には37億円減少する。
(平成27年2月一般会計歳入歳出収支見込より)

オンリーワンの常滑市

第5次総合計画には沢山の内容が盛り込まれているが、それを活かすのは人である。常滑は自然が豊かで、古い町並みが残る街づくりの素材は沢山あるが生かされていっていないのではないかと。

幸い常滑は多くのイベントがあり、ボランティア活動も盛んで活動している人が沢山いる。それらの人と人をつないでいき、生き甲斐のある、住んで良かったと思えるオンリーワンの街にしていきたい。

また借金は減少となっているが、今後公共施設の老朽化、下水道工事などの費用がかさむ。次世代の子どもたちに負担を残さない計画を要望していきたい。

常滑東小学校に軽量鉄骨新設案採用

— 小学校の児童数増加に伴う対応方針(案)について —

常滑東小学校の生徒数増加に伴い、教育委員会は平成26年4月に常滑東小学校と常滑西小学校の通学区域の見直しを実施した。しかしその後児童数の増加が予想以上に多く見込まれたため、再度地元区長やPTA役員からなる検討委員会で検討した。最終的に下記の第2案を採用したい旨の報告があった。

第1案 東館校舎建て替え 13億9千万円
第2案 グランドに軽量鉄骨新設 8億1千万円



| | 教室数 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 34年度 | 35年度 | 36年度 | 37年度 |
|----------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 常東小(不足数) | 27 | 18 | 21 | 24 | 28 | 33 | 36 | 37 | 37 | 36 | 34 | 32 |
| 常西小(余剰数) | 42 | 23 | 24 | 24 | 24 | 23 | 23 | 23 | 22 | 22 | 22 | 22 |
| | | 19 | 18 | 18 | 18 | 19 | 19 | 19 | 20 | 20 | 20 | 20 |

他の学校でも生徒数の増減があるため早い段階でこの問題を検討する必要があるのでは。